

周南地域の野犬問題への対策について

1 これまでの取組

(1) 野犬の捕獲（県）

①捕獲体制

- 通報アプリ等の情報を活用した巡回調査、捕獲の実施
- 周南緑地周辺に加え、市内の苦情地域や被害発生地域での捕獲の実施
- 県と市で連携した合同捕獲の実施
- インターネットを利用した大型囲い檻の遠隔捕獲システムの活用

②捕獲実績

年度	周南市内全域			周南緑地		
	成犬	子犬	合計	成犬	子犬	合計
平成 30 年度	120	630	750	12	176	188
令和元年度	165	676	841	59	245	304
令和 2 年度	105	608	713	28	232	260
令和 3 年度	73	439	512	9	176	185
令和 4 年度	141	372	513	38	133	171
令和 5 年度※	27	21	48	6	11	17

※令和 5 年度：6 月末現在までの数

(2) 野犬への餌やり行為の対策（市）

①餌やり禁止パトロール

- 回数 [R4 年度] 日中：199 回、早朝・夜間：19 回
[R5 年度] 日中：50 回、早朝・夜間：5 回（～R5.6）
- 結果 [R4 年度] 口頭指導 7 回、うち文書指導 4 回、餌回収 14 回
[R5 年度] 口頭指導 3 回、餌回収 4 回
- その他の取組

- ・外部委託による夜間の餌やり者の情報収集

②公園・墓地内の管理強化（野犬が棲みにくい環境づくり）

大迫田共同墓地周辺及び公園管理区域の草刈り 延べ約 43,000 m²

(3) しゅうなん通報アプリ（野犬情報通報機能）の配信（市）

- 総ダウンロード数：6,881 件（～R5.6）
- 通報件数：[R4 年度] 746 件、[R5 年度] 322 件
- 情報は周南環境保健所と共有し、野犬捕獲や餌やり行為への対策に活用

(4) 野犬対策への県民の理解促進と気運醸成に向けた取組（県・市）

- 啓発イベントの実施（R4.10.22、ゆめタウン徳山）
- ホームページ等による情報発信
- 周南緑地周辺の自治会連合会長との意見交換会の開催

(5) 咬傷事故発生場所における対応（県・市）

- 地元住民への説明、注意喚起
- 捕獲体制の強化（パトロールの強化、大型囲い檻等の設置）

成果と課題

◆取組成果

- 野犬のうち、成犬の捕獲数は、遠隔捕獲システムの導入により増加
- 周南緑地における野犬への餌やりについては、日中の行為は抑止
- 通報アプリへの目撃情報等の活用による効果的なパトロールや捕獲等の実施 等

◆課題

今年7月に咬傷事故が発生し、依然として、市内各所から、野犬の目撃、追われた・囲まれた等の情報や物損被害などが発生しており、捕獲やむやみな餌やり禁止に向けた対策の強化が必要

2 今後の取組・対策

(1) 【強化】野犬の捕獲（県・市）

- 通報アプリの情報等を活用して、生息状況等を把握し、集中捕獲等の実施
- インターネットを利用した大型囲い檻の遠隔捕獲システムによる捕獲の実施
- 既存の大型檻より間口、スペースの広い囲い檻の導入

(2) 【強化】むやみな餌やり禁止に向けた対策（市・県・警察）

- 通報アプリの情報等を活用した、効果的・広域的な餌やり禁止パトロールの実施
- 餌やり行為を特定するための情報収集と行為者への厳正な指導・注意の実施
- 監視カメラを活用した餌やり行為の時間・場所の特定
- 妨害行為者に対する警察との連携
- 地域との連携強化（餌やり情報の共有）
- クラウド型防犯カメラの設置

(3) 【継続】咬傷事故発生時の対応（県・市・警察）

- 周辺住民への注意喚起等
- 監視カメラ、しゅうなん通報アプリ等による野犬の出没状況の把握
- 咬傷事故発生場所における集中的な捕獲の実施

(4) 【継続】野犬が棲みにくい環境づくりのための草刈り（市）

- 野犬目撃情報等を参考に、棲みかとなる可能性が高い場所を選定し草刈りを実施

(5) 【継続】野犬情報の収集と配信（市）

- 「しゅうなん通報アプリ」の野犬通報情報を県と共有し、野犬対策に活用
 - ・野犬の出没時間、場所等の情報を分析し、効率的かつ効果的な野犬捕獲
 - ・通報場所等を示した地図情報を定期的に配信し、被害防止への注意喚起

(6) 【継続】野犬対策への県民の理解促進と気運醸成に向けた取組（市・県）

- 該当における野犬対策キャンペーンの実施
- ホームページ等による情報発信

(7) 【強化】地域説明会の実施（市）

- 市職員が地域に赴き、野犬対策の現状、野犬の出没・生息等の状況について説明
- 野犬の出没情報、餌やり者に関する情報提供など地域との連携についての必要性を説明、協力を呼びかけ